

Theoretical and Empirical Research
on Boundary of Employment

KIMURA Takuma

RSI Research Paper Series No.15

Department of Research on the Staffing Industry,
Institute of Social Science, University of Tokyo

雇用の境界に関する理論的・実証的研究

RSI Research Paper Series No.15

RSI

Research Paper Series

Department of Research on the Staffing Industry

雇用の境界に関する理論的・実証的研究

木村琢磨

東京大学社会科学研究所人材ビジネス研究寄付研究部門
研究シリーズ No.15

東京大学社会科学研究所人材ビジネス研究寄付研究部門

目 次

はじめに	佐藤博樹	7
<hr/>		
雇用の境界に関する理論的・実証的研究	木村琢磨	1 1
序章 問題意識と研究課題		1 1
1. 問題意識		1 1
2. 研究課題		1 3
3. 論文の構成		1 9
第 I 部 人的資源ポートフォリオ論の先行研究		
第 1 章 雇用の境界に関する伝統的理論		2 5
1. 取引コスト理論		2 5
2. Williamson による雇用関係の理解		3 1
3. 権限と雇用の境界		3 5
4. ケイパビリティと雇用の境界		4 0
小 括		4 2
第 2 章 社外労働力の活用と組織パフォーマンスに関する研究		4 5
1. 社外労働力の活用と組織パフォーマンス		4 5
2. 定性的パフォーマンスへの影響		4 6
3. 財務パフォーマンスへの影響		5 2
小 括		5 7
第 3 章 人的資源ポートフォリオに関する理論		5 9
1. Atkinson の「柔軟な企業」モデル		5 9
2. 「柔軟な企業」モデルへの批判		6 2
3. Baron & Kreps のモデル		6 4
4. 人的資源アーキテクチャ論		6 6
小 括		6 8

第Ⅱ部 社外労働力活用の現状：製造業を事例として

第4章 製造部門における社外労働力の活用	73
1. 業務請負の拡大	73
2. 業務請負拡大の背景	77
3. 活用実態と業務領域	84
小 括	94
第5章 設計部門における社外労働力の活用	97
1. 派遣労働の拡大	98
2. 派遣労働拡大の背景	102
3. 派遣・請負労働者の業務領域	105
小 括	111

第Ⅲ部 人的資源ポートフォリオ論の課題：実証分析

第6章 人的資源ポートフォリオの実際	115
1. 先行研究の問題点	116
2. 質的基幹化と組織パフォーマンス	117
3. 質的基幹化と定着化	125
小 括	136
第7章 人的資源ポートフォリオ論の問題点	139
1. 先行研究の問題点	139
2. 職務権限と雇用の境界	144
3. キャリア形成機会と雇用の境界	149
小 括	158

第IV部 人的資源ポートフォリオ論の再構築

第8章 職務権限と雇用の境界	163
1. 「中核的業務」の概念	163
2. 「中核的業務」の分担状況	165
3. 職務権限の理論的整理	173
4. 職務権限の委譲の状況	181
小 括	184
第9章 キャリア形成機会と雇用の境界	187
1. 派遣技術者の活用事例	187
2. 経営コンサルタントの活用事例	193
3. 事例の分析	197
小 括	201
終章 要約と結論	203
1. 要約と結論	203
2. 本研究のインプリケーション	212
3. 今後の研究課題	215
参考文献	217
謝辞	227

謝辞

本論文をまとめるにあたり、大学院修士課程入学以来、ご指導いただいた、東京大学社会科学研究所の佐藤博樹教授、大学院在学中のご指導および本論文の審査（副査）をしていただいた東京大学大学院経済学研究科の佐口和郎教授、森建資教授、同社会科学研究所の中村圭介教授、仁田道夫教授（所属・氏名の五十音順）に心より感謝を申し上げます。

大学院在学中は、東京大学大学院経済学研究科の高橋伸夫教授、新宅純二郎准教授から厳しくかつ温かいご指導をいただき、また、当時、同研究科の労働研究室・経営研究室に所属していた先輩方をはじめとする大学院生であった皆様からは、研究上、多大なるご支援・ご助言をいただきました。

本研究は、筆者の単独研究のみならず共同研究も含まれておりますが、共同研究者であった佐野嘉秀氏（法政大学経営学部准教授）、藤本真氏・前浦穂高氏・高橋康二氏（独立行政法人労働政策研究・研修機構）、鹿生治行氏（独立行政法人高齢・障害者雇用支援機構）、山路崇正氏（東京大学大学院経済学研究科博士課程）には、研究の推進にあたって多くのご助力をいただきました。また、個々にお名前を挙げることは差し控えますが、本研究で行った実態調査にご参加いただいた企業の皆様には、データのご提供、インタビュー調査のご受諾など、多大なるご協力をいただきました。この場を借りて感謝いたします。

本論文は学術研究であります。研究における着想の多くは、会社員生活での経験を通じて気づき、学んだことに基づいています。仕事上でのご支援とともに、有益な経験を積む機会を与えていただき、また研究に道に入ることを快く受け入れ、かつ応援していただいた元勤務先の皆様に深く感謝いたします。

【執筆者略歴】

木村琢磨(きむら・たくま) 1976年生まれ。法政大学キャリアデザイン学部専任講師。
主な著書に「戦略的人的資源管理論の再検討」(『日本労働研究雑誌』2007年2・3月号
所収)、『ホワイトカラーの管理と労働』(2007年2月、社会経済生産性本部生産性労働
情報センター、共著)など。経営管理論・組織行動論専攻。

－東京大学社会科学研究所人材ビジネス研究寄付研究部門と研究シリーズについて－

人材ビジネス研究寄付研究部門は、市場環境のグローバル化や不確実性の増大、労働力供給構造の変化、労働法制の変化、人材ビジネスの発展を前提とした、企業の人材活用の現状と課題を論理的かつ実証的に明らかにすること、さらに、その研究成果をもとに、企業の人材活用ニーズを充足するうえで人材ビジネスに求められる経営戦略および人事戦略上の課題を検討することを研究課題としている。

当寄付研究部門は、株式会社スタッフサービス・ホールディングスの奨学寄附金にもとづき2004年4月に3年間の時限で設置され、2007年4月にさらに3年間の時限で更新されたものである。寄付研究部門は、奨学を目的とする民間等からの寄附金を有効に活用し、大学等の教育研究の活性化をはかるため、設置運営されている。

研究シリーズは、東京大学社会科学研究所人材ビジネス研究寄付研究部門の研究成果を掲載するものである。

2009年12月4日発行(非売品)

東京大学社会科学研究所人材ビジネス研究寄付研究部門 研究シリーズ No.15
雇用の境界に関する理論的・実証的研究

発行所 〒113-0033 東京都文京区本郷 7-3-1
東京大学社会科学研究所 人材ビジネス研究寄付研究部門
TEL 03-5841-4875 FAX 03-5841-4905

印刷所 株式会社カントー

- 【東京大学社会科学研究所人材ビジネス研究寄付部門研究シリーズ・バックナンバー】
- No.1: 佐藤博樹・佐野嘉秀・藤本真・木村琢磨『生産現場における外部人材の活用と人材ビジネス (1)』2004年10月.
- No.2: 木村琢磨・島貫智行・高橋康二『米国企業の人的資源管理と外部人材活用: 1996 - 1997 NOSデータの再分析』2004年10月.
- No.3: 佐藤博樹・佐野嘉秀・木村琢磨・鹿生治行『設計部門における外部人材活用の現状と課題 - 『多様な人材の活用と製品設計の効率化に関する調査』の分析から -』2005年3月.
- No.4: 石原真三子・原ひろみ・佐藤博樹『日本企業の雇用行動の変遷についての研究 - 1995年~2001年について -』2005年7月.
- No.5: 佐藤博樹・佐野嘉秀編『製品設計分野における技術者派遣企業のキャリア管理』2005年10月.
- No.6: 佐藤博樹・佐野嘉秀・藤本真・木村琢磨・山路崇正『生産現場における外部人材の活用と人材ビジネス (2)』2005年10月.
- No.7: 堀田聡子・大木栄一・佐藤博樹『介護職の能力開発と雇用管理』2005年11月
- No.8: 佐藤博樹・佐野嘉秀・藤本真・木村琢磨『生産現場における外部人材の活用と人材ビジネス (3) -事例調査編-』2006年7月.
- No.9: 佐藤博樹・高橋康二・島貫智行『派遣スタッフの就業意識・働き方と人事管理の課題』2006年10月.
- No.10: 佐藤博樹・高橋康二・木村琢磨『登録型人材派遣企業の経営戦略と人的資源管理』2007年3月.
- No.11: 堀田聡子『訪問介護員の定着・能力開発と雇用管理』2008年3月.
- No.12: 佐野嘉秀・鹿生治行・高橋康二・山路崇正・中川功一『設計部門における外部人材活用の現状と課題 (2) -事例調査編-』2008年8月.
- No.13: 佐藤博樹・佐野嘉秀・高橋康二・東秀忠『製品設計分野における技術者派遣企業のキャリア管理 (2) -技術者個人アンケート調査から-』2008年10月.
- No.14: 佐藤博樹・松浦民恵・島貫智行・高橋康二・中道麻子『派遣という働き方を通じたキャリア形成 -事務職、コールセンター・オペレーター、技術者、営業職-』2009年7月.
- 【東京大学社会科学研究所人材ビジネス研究寄付部門資料シリーズ・バックナンバー】
- No.1: 佐藤博樹・佐野嘉秀編『人材ビジネスの現状と展望 (1) - 「第1回人材ビジネスの市場と経営に関する総合実態調査」集計結果 -』2006年3月.
- No.2: 高橋康二著/人材ビジネス研究寄付研究部門監修『労働者派遣事業の動向 - 「労働者派遣事業報告書集計結果」に基づく時系列データ』労働新聞社, 2006年8月.
- No.3: 佐藤博樹・佐野嘉秀編『人材ビジネスの現状と展望 (2) - 「第2回人材ビジネスの市場と経営に関する総合実態調査」集計結果 -』2007年3月.
- No.4: 佐藤博樹・佐野嘉秀編『人材ビジネスの現状と展望 (3) - 「第3回人材ビジネスの市場と経営に関する総合実態調査」集計結果 -』2008年4月.
- No.5: 佐藤博樹・佐野嘉秀編『人材ビジネスの現状と展望 (4) - 「第4回人材ビジネスの市場と経営に関する総合実態調査」集計結果 -』2009年3月.

* 研究シリーズは、東京大学社会科学研究所人材ビジネス研究寄付研究部門の研究成果を掲載するものである。なお、研究シリーズおよび資料シリーズの本文は部門のホームページ (<http://web.iss.u-tokyo.ac.jp/jinzai/>) よりダウンロードすることができる。